

ゆずり葉の 木漏れ日

<特別支援・発達支援>

2023年12月1日発行
第2号

<http://www.yobokyoiku-academy.com/>

巻頭言

インクルーシブ教育の必要性が指摘され久しくなりますが、現状はどうでしょうか。

インクルーシブ教育のとらえ方はさまざまで、またその実践も国単位でみると大きく違います。インクルーシブ教育に関連して、声明が出され、条約が締結されても、この状況です。

声明がこうだから、条約がこうだから、という視点は欠かせません。しかしその前に、インクルーシブ教育の本当のあり方を考えて、自分自身の考えと目指す方向をもつことも大切です。

この度、私たちアカデミーはこのことについて、研修と討議・座談会を行うことになりました。一度、すべてを白紙にして、一から理想のインクルーシブ教育を考えませんか。そして、現実的な制約の中で、その理想に近づけるために何ができるのか？ 本音で話し合ひましょう。

●「特別・発達支援研修会」@オンライン（zoom）開催のご案内

● ～みんなで考えよう！「インクルーシブ教育の現実と理想」～

インクルーシブ教育に関する研修会を、下記日程にて開催いたします。

学校でのインクルーシブ教育には、これまでの様々な取り組みを含め、多様な考えと実践があります。そのようななか、いま一度、自由に理想の“インクルーシブ”を語り合ってみませんか。そして、現実的な問題と対応方法についてご一緒に考えてみたいと思います。

そこで、今回の通信第2号では、会に先立ちまして、当日の話題・情報提供者3名のプレメッセージを掲載しています。ぜひ裏面をご覧くださいますとともに、研修会への多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：2023年12月23日（土・祝）14:00～最長16:00 オンライン（zoom）にて

参加費：無料

- プログラム：
1. 理想のインクルーシブ教育をどう描くか
 2. 日本の現状から見る未就学時から就学時の選択
 3. インクルーシブ教育に関連して、実際に見聞きした困りごと
 4. 私の考えたちょっとした教育法～もやもや母さん～

*参加は無料ですが、お申し込みが必要です。

<https://forms.gle/7cnqPJCJDrsalMnt5> またはQRコードからお手続きください。



「日本の現状から見る未就学時から就学時の選択」

話題提供 青木 直人



未就学から、修学に向けて色々と心配なことはありませんか？
未就学の時期に、お子さんと関係のある機関の方から支援を受けられた方が・・・
または、支援学校を勧められた方もいらっしゃると思います。
選択をどうしたらいいの？
成長がゆっくりで、凸凹がある子どもたちからすると、やっと慣れた園生活等から小学校等へ入学する事で大きな変化になります。普通学級、支援学級、支援学校とどこを選んだらいいのだろうか。その選択には明確な答えはないと思います。
日頃、そうした保護者さんとお話をさせていただいている私が悩むポイントなどについてご紹介させていただきます。
一緒にどのようにしていけばいいのか話し合う機会にしたいと考えています。

「インクルーシブ教育に関連して、実際に見聞きした困りごと」

情報提供 姫田 知子

インクルーシブ教育の実現・普及が進められる今、個別の教育的ニーズのある子どもたちに対する、多様で柔軟な仕組みの整備が重要であるとされています。特別支援教育、合理的配慮等、様々な体制が整う一方で、明確な診断等がない“グレーゾーン”と呼ばれる子どもたちに対する支援はまだまだ足踏み状態であり、支援のはざまに置かれている現状です。とはいえ、発達段階の移行に伴う課題（就学を機に学びの形態が遊びから座学に変わる）、非認知能力と認知能力をどう育むのか（幼児教育のみで就学後の学修についていけるのか）は、どの家族も頭を悩ませるものではないでしょうか。

多様な子どもたちの個別ニーズに対応するために、日本の教育に必要なものは何なのか。
今回の研修会では、私が発達相談をする中で出会う子ども・家族の創作事例をもとに、
どのような支援や体制が必要なのか、みなさんと一緒に考える機会にしたいと考えています。



「私の考えたちょっとした教育法～もやもや母さん～」

話題提供 藤崎 由基

あなたは画用紙にかいた絵が気に入らなくて消ゴムでゴシゴシ。画用紙がぐちゃっとなって怒りだす。絵がしわしわになったと言って。

おいおい泣きながら今度はお父さんに怒られたと言ってわーん！次は兄ちゃんが先にごはんを食べ始めたからとぎゃーん！みんなにお箸を配れなかったからグワー！次々に理由を見つけて怒って泣いて。何が嫌だったん？なだめたり、気をそらしてみたり、いろいろしてあなたに付き合ってみたけれど、ついに「もやもや母さん、いい加減にしなさい！」と大きな声。あなたはピタリと泣き止んだ。



また、やっちゃった。大きな声で怒る以外に何か方法はないものか。もやもや母さん、考えた。そういや、先生がうまく出来たらごほうびをあげて下さいね、って言うていたっけ。あなたが楽しんで困ったことを乗り越えることが出来たらなあ、と、もやもや母さん、考えた。

子どもたちと困ったことを乗り越えるゲームを始めました。もやもや母さんの試行錯誤を研修会でお話します。

お知らせ

予防教育科学アカデミーでは、子育てや教育上の困りごとの相談を常時メールにて受け付けています。皆さまからのご相談に応じて専門家がご答えいたします。下記までどうぞご相談ください。

ご相談窓口：yobokyoiku.academy@gmail.com（お名前は必ずご記入ください）

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 予防教育科学アカデミー <http://www.yobokyoiku-academy.com/>

